

平成26年度

第1回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

1 日時 平成26年7月10日(木) 13:30~15:00

2 場所 岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室

3 出席者 委員9名

4 傍聴者 報道2者、傍聴者1名

5 議題

- ・平成26年度保健福祉政策審議会スケジュールについて
- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しについて

6 主要な意見

- ・岡山県、全国と比較して、要介護度2の比率が高い。また、他の政令指定都市と比較して認定率が高い。理由について分析しているのであれば教えてもらいたい。
- ・非該当になる方の率について、次回以降で良いので、教えてもらいたい。
- ・介護保険法の改正により、原則、特別養護老人ホームへの新規入所者の受け入れが要介護度3以上になる。しかし、認知症で要介護度が1又は2の方の夜の徘徊は激しく、その受け皿を市としてどう考えるかが課題である。
- ・認知症の周辺症状が見られても、本人が拒んだり、家族等の理解が得られず、受診まで至らないケースがある。
- ・認知症の初期集中支援において、受診に繋げていくのは良いが、医療機関に引き継いだ後のモニタリングをしっかりとやる仕組みにしてもらいたい。
- ・低所得者の施策をしっかりと議論してもらいたい。
- ・介護予防の現状と課題については、パワーリハビリの関係者にヒアリングしてみてもどうか。
- ・若年性認知症の意見を聞いて施策反映できれば良いのではないかと。
- ・デイサービス事業では、機能訓練を主としているところを残していくのか。レスパイトの機能も重要であると思う。
- ・包括支援センターの人事異動には配慮してもらいたい。地域としては、顔の見える関係が人事異動でなくなると困ることも多い。また、休日夜間に相談できるところがほしい。
- ・介護サービスは充実している方が良いが、保険料などを負担していけるかどうか負担側の視点も重要。高齢者対若者になってもいけない。
- ・特養の実際の待機者の数がわかりにくい。施設がどれだけ必要か判断するには(保育園のような)現状把握できる仕組みが必要ではないかと。